

情報公開文書

1. 研究の名称

ロボット支援胃切除術における助手の手術参加の程度が及ぼす影響に関する検討

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

京都大学医学部附属病院消化管外科 小濱和貴

4. 研究の目的・意義

胃癌でロボット支援下手術を施行された方を対象として、手術助手の参加の程度が及ぼす手術成績への影響を検討することを目的とします。手術助手の手術への参加の程度が、手術時間の短縮や合併症の低下、医療費の削減に寄与する可能性があることに本研究の意義があります。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日～2027年3月31日

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2017年1月1日から2023年12月31日の間に、京都大学医学部附属病院消化管外科において、胃癌でロボット支援下手術を受けた患者さん

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

手術成績の向上のために活用します。京都大学医学部附属病院消化管外科でのみ利用します。診療録に記録された情報から個人を特定できる情報を削除して利用します。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

診療録に記録された情報のうち、胃癌や胃癌に対する手術に関連する情報を活用します。

9. 利用または提供を開始する予定日

京都大学医学部附属病院長の実施許可日以降に利用開始します。

10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学医学部附属病院消化管外科 小濱和貴

11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

13. 研究資金・利益相反

1) 研究資金の種類および提供者

研究費 コヴィディエンジャパン株式会社

2) 提供者と研究者との関係

資金提供者の研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与なし

3) 利益相反

コヴィディエンジャパン株式会社から講演料等で年間合計 100 万円以上の個人的収入を得ている研究者が本研究に参加しています。利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

14. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 研究課題ごとの相談窓口

研究室・担当者・連絡方法を併記

京都大学医学部附属病院 消化管外科医局 久森重夫

TEL 075-366-7595 FAX 075-366-7642

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

Email: 060surg1@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp